

テーマ：女性研究者のリーダー育成



大阪教育大学
学長補佐
(男女共同参画推進担当)
高度教職開発系 教授
鈴木 真由子

Question 01 女性研究者のリーダー像とは?

家政系の短期大学、国立総合大学の教育学部を経て、教員養成系単科大学である本学に着任しました。専門分野である家庭教育・消費者教育は相対的に女性比率が高いこともあり、リーダー的な立場でご活躍されている女性にも数多く出会ってきました。

その中で特筆すべきなのは、物理学者の坂東昌子先生です。京都大学にある「朱い実保育園」の原点は、子育てを経験された院生時代、坂東先生がご自宅に開設した共同保育所です。女性(のみならず、ポストクなどの若手研究者)が研究を継続できる環境の改善に向け、現在も【NPO法人知の人材ネットワーク・あいしゅたいん】の理事長として、意欲的に活動しておられます。研究分野が異なるからこそこの憧れが含まれているかもしれませんが、アクティブでしなやかな坂東先生は、いつも自然体。肩の力が抜けた、魅力的な女性研究者のリーダーそのものです。



Question 02 女性研究者のリーダー育成のためのご活動は?

共同研究やプロジェクトなど、次世代を担うことが期待される若手研究者との関わりを多く持つよう心掛けています。その際、「どうすれば負担を感じることなくバトンを渡せるか」を意識するようにしています。リーダーを育てることは、フォロワーとしての自分自身を鍛え直すことでもあります。ライフイベントを含み、先に経験した出来事は、それが何であれロールモデルになり得ます。経験至上主義に陥ってはいませんが、同様の経験をした身近な存在、あるいは愚痴をこぼしあえるネットワークの一部でありたいと考えています。

Question 03 女性研究者へのメッセージをお願いします。

正確な情報の獲得や現実的な支援を求める窓口は、少し高いハードルと感ずるかもしれませんが、是非「相談力」を身に付けてほしいと思います。近年は、コロナ禍でオンライン中心のコミュニケーションが増えました。柔軟な働き方という意味では、在宅勤務も上手に取り入れたい選択肢の一つですが、対面でのおしゃべり(雑談)の機会を失うことにもつながりました。ちょっとした相談事や情報交換、アドバイスは、そんな雑談の中に潜んでいます。問題の解決というと大げさですが、まずは雑談のある日常を取り戻したいものです。

時に、立ち止まることも大切です。今、誰のために、どのような資源(時間、モノ、お金、情報、心身、人間関係等々)を、どう使うのか、優先順位とともに問い直してみましょう。目の前のことに追われ、無我夢中で余裕がない時ほど、立ち止まる勇気が必要なのかもしれません。10年後、20年後の自分が幸せかどうか、自信をもって今の自分を肯定できるのか、自問自答してみませんか。

News Letter

Vol. 10

大阪市立大学 大阪教育大学 和歌山大学 積水ハウス株式会社

2021年度 ダイバーシティ研究環境実現 グローバルシンポジウム

ボーダーを越えて、女性研究者の未来を拓く PART II

2021年度 ダイバーシティ研究環境実現 グローバルシンポジウム

2022年 2月14日(月) 16:30~18:45 オンライン開催 参加:約200名

テーマ 南近畿から世界へ: ボーダーを越えて、女性研究者の未来を拓く PART II

大阪市立大学と大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス株式会社は、平成29年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に選定され、2021年度に5年目を迎えました。2020年度には「南近畿女性研究者支援ネットワーク」が本格始動し、2021年度には大阪商工会議所が参画するなどネットワークを広げています。本シンポジウムは事業の成果を報告するとともに、ドイツの大学の副学長をはじめ、内外のゲストによる先進的事例の報告から示唆を得て、さらに取り組みを進展させることを目的として開催し、約200名が参加しました。

報告1

「研究環境のジェンダー・エクイティを目指して」

鍋島 美奈子(大阪市立大学 学長特別補佐) 鈴木 真由子(大阪教育大学 学長補佐)
金川 めぐみ(和歌山大学 学長補佐)

講演会

「ドイツの大学におけるダイバーシティとジェンダー平等の促進:ベルリン自由大学の経験から」
Verena Blechinger-Talcott
(ベルリン自由大学 副学長、政治経済学・日本学[Institute of East Asian Studies] 教授)

Blechinger-Talcott副学長は、ドイツの大学におけるダイバーシティとジェンダー平等の発展の経緯を紹介し、問題解決への取り組みについて説明しました。ドイツでは1980年代に女性の問題を担当する「ジェンダー平等オフィサー」が設置され、1990年代から2000年代にかけてジェンダー平等に関する法整備が進められました。そこには、女性に影響を与える政策に関わる、人事評価や執行委員会への参加が必ず認められるなどの権限が認められています。近年ではジェンダー平等を、単に男女平等という観点だけではなく、ダイバーシティという広範囲な観点で差別禁止を実現する方向へと社会における重点が変化しており、それに対応した包括的なガイドラインが整備されています。ベルリン自由大学では州の法律「ジェンダー平等法」に則り、ダイバーシティの概念を取り入れた様々な取り組みを行っています。イノベーションを促進したジェンダー平等プロジェクトに対して研究資金を提供したり、ジェンダー平等に対する目標を掲げ、達成したところにインセンティブを与えるなどの事例が紹介されました。

報告2

「女性研究リーダーがさらに地域で活躍するために」

河崎 由美子(積水ハウス株式会社 執行役員 住生活研究所長)
本 奈美(大阪商工会議所 人材開発部 研修・採用支援担当課長)

パネルディスカッション

「アカデミアにおけるジェンダー・ギャップをいかに解消するのか?」

パネリスト: ウスビ サコ(京都精華大学 学長)
治部 れんげ(東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 准教授)
金澤 真理(大阪市立大学 副学長)



サコ学長 治部准教授 金澤副学長

アドバイザー: Verena Blechinger-Talcott(ベルリン自由大学 副学長)
モデレーター: 西岡 英子
(大阪市立大学 女性研究者支援室 プログラムディレクター 特任准教授)



Blechinger-Talcott 副学長

Event Schedule

3月 17日[thu] 14:00~16:00 オンライン開催

「大学におけるSOGIの多様性を尊重するために学生とできること」

パネリスト: 大阪府立大学 フダイバーシティプロジェクトメンバー
モデレーター: 岡田 真理子(和歌山大学経済学部教員)
本庄 麻美子(和歌山大学経済学部教員)

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現
イニシアティブ(牽引型)



HP: <https://diversity-oows.jp>

連携機関

代表機関 公立大学法人大阪 大阪市立大学
共同実施機関 国立大学法人 大阪教育大学
国立大学法人 和歌山大学
積水ハウス株式会社

ニュースレターに関するお問い合わせ

大阪市立大学女性研究者支援室
OCU Support Office for Female Researchers
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
Tel: 06-6605-3661
E-mail: kensi-ocu-support-f@list.osaka-cu.ac.jp
HP: <http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/>

発行: 2022年3月

01

国際学会発表をめざす研究者のために 英語プレゼンテーションセミナー

2021年 11月24日(水)・11月26日(金) オンライン開催

講師：John Mukts

(ILC国際語学センター ビジネス英語・企業研修プログラム主任教師)

アカデミックプレゼンテーションのセミナーを全2日間の日程で開催しました。参加対象は大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス、大阪市立大学と南近畿女性研究者支援ネットワークの参画大学・団体の教員・研究員・大学院生で初日32名、2日目30名が参加しました。(各日90分の講義)

アンケートでは、47%が「大変満足した」と答え、「今まで漫然とプレゼンをしていたが、ポイントが明確になった」、「現在プレゼンテーションのクラスを担当しているが、講義内容がアカデミック分野だけでなく、様々な場面で活用できることが分かった」、また、「講義日程が、2日間に分け、各90分で展開のため、大学での日常業務にも無理なく受講できた」、「実際のプレゼンテーション例を示しながら話し方についてより詳細な説明が欲しかった」、「プレゼンテーション・スキルは資料を整えるだけでなく、講演者のふるまいも含めてプレゼンテーションであることを実感した」との感想を寄せていただきました。

英語プレゼンテーションセミナー
～国際学会発表をめざす研究者のために～
2021年 11月24日(水)・11月26日(金)
両日とも 13:30～15:00 オンラインセミナー (Zoom)
1日目(11/24) プレゼンテーションの準備と基本ルール
2日目(11/26) 懇話会による質疑応答と個別指導
講師：John Mukts (イリコ国際語学センター主任教師)

02

第5回 女性研究者研究発表交流会

2021年 12月3日(金) 13:30～15:40 オンライン開催

主催：積水ハウス株式会社

対象：積水ハウス株式会社、大阪市立大学、大阪教育大学、和歌山大学、南近畿女性研究者支援ネットワークの各連携機関構成員(学生含む)、一般の方など

講師に日刊工業新聞論説委員兼編集委員 山本佳世子氏をお迎えし「理系女性の人生設計～自分らしさを生かしたキャリア～」と題してご講演いただきました。ご自身の体験と合わせて、大企業・大学・ベンチャーの理系女性トップの取材から得られたヒントもご紹介くださり、聞き手として参加した、積水ハウス株式会社 執行役員 住生活研究所長 河崎由美子氏と対談形式で質問にもお答えいただきました。

産学官連携ウィメンズユニット(WUSO)研究発表では「住まいにおける子どものオンライン学習スペースの研究」について、大阪市立大学経済学研究科准教授 杉田菜穂氏、積水ハウス株式会社住生活研究所課長 秋山寿美江氏よりご発表いただきました。

今回初の試みとなったパネルディスカッションでは「女性研究者が語る、研究者のキャリアプラン」をテーマに、モデレーターの新井美穂氏、パネラーの大阪教育大学教育学部准教授 出野文莉氏、和歌山大学学長補佐 経済学部教授 金川めぐみ氏、帝塚山大学現代生活学部学部長 教授 辻川ひとみ氏、秋山寿美江氏、アドバイザーの山本佳世子氏の計6名でそれぞれのキャリアでの困難やそれをどう乗り越えたか、また聴講者へのメッセージなど語っていただきました。2年連続でのオンライン開催となりましたが、登壇者については感染対策を講じた上で同じ会場から配信することができ、研究者同士交流することができました。

第5回女性研究者研究発表交流会
2021年12月3日(金) 13:30～15:40
1. 講演も対談 「理系女性の人生設計～自分らしさを生かしたキャリア～」
2. 産学官連携ウィメンズユニット(WUSO) 研究発表
3. パネルディスカッション 「女性研究者が語る、研究者のキャリアプラン」



オンライン会場風景▶

介護と仕事の両立

オンデマンドセミナー

2021年 11月1日(月)～11月30日(火)

講師：大阪市立大学 女性研究者支援室

介護相談窓口 介護アドバイザー 湯浅 美佐子

大阪市立大学と大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス株式会社が連携して「介護相談窓口」を運営しています。

「介護相談窓口」では、介護と仕事の両立も必要な基本的な知識を学んでいただき、早めの介護の備えと、介護と仕事の両立に役立ててもらうために様々な情報を発信しています。

このたび、介護と仕事の両立オンデマンドセミナーを実施し、大阪市立大学、大阪教育大学、和歌山大学の教職員78名が受講しました。

受講者は、大阪市立大学女性研究者支援室ホームページで公開されている解説動画「介護で仕事をあきらめないための介護と仕事の両立とは？」(基本編・応用編・認知症編の動画を閲覧。各15分程度)で具体の対策や心構えを学びました。下記QRコードやURLから解説動画をご覧ください。

共同開設 大阪市立大学・大阪教育大学
和歌山大学・積水ハウス株式会社

《介護相談窓口》

f-soudan@ado.osaka-cu.ac.jp

06-6605-3455

相談日 月2回 10:00～16:00
(日程等はホームページをご覧ください)

場所 大阪市立大学杉本キャンパス 1号館1階
女性研究者支援室(研究推進課分室)
(大阪市住吉区杉本3-3-138)

利用対象 連携機関所属の教職員、学生

介護で仕事をあきらめないための
介護と仕事の両立とは？

解説動画 (3本)

基本編



応用編



認知症編



基本編 <https://www.youtube.com/watch?v=QoaNZkYHC08&t=2s>

応用編 https://www.youtube.com/watch?v=KhG3-fJdk_I

認知症編 <https://www.youtube.com/watch?v=QNX4pyDPFEg>

ご意見・ご感想

- 介護が必要な状態に直面したときに慌てないようにしたい。また介護が必要になったときに気軽に相談できる窓口があるのありがたい。安心できる環境を大学内に構築していただき、感謝しております。長く、窓口を設置してほしいと思う。
- 介護保険利用の手続き編があればよいと思う。
- 介護休業している部下にも紹介させていただきました。
- 周りで研究者の介護離職は後をたたく、しばらくは、なんとか頑張るけれど、誰にも相談することもなく、辞める人が多いです。勤務地を選ぶことができないという研究者の特殊事情もあります。ですので、これまで具体的に寄せられた問題が、相談することによって、どのように解決したか、などの事例があれば、さらに良かったように思いました。

WEBランチセッション 仕事と介護の両立セミナー

主催：積水ハウス株式会社

講師：大阪市立大学 女性研究者支援室
介護相談窓口 介護アドバイザー
湯浅 美佐子

2021年 12月16日(木) オンライン開催

積水ハウス株式会社の社内セミナーとして、大阪市立大学に共同開設している介護相談窓口担当の介護アドバイザー、湯浅美佐子氏を講師にお招きし、仕事と介護の両立セミナー「介護へ備える第一歩」を開催しました。気軽に多くの従業員が参加できるよう、お昼休みに昼食をとりながら参加できる、ランチセッションスタイルでの開催としました。当日は245名の参加があり、受講後アンケートでは、セミナーの狙いであった「介護準備の必要性についての理解」については98.1%が「できた・ある程度できた」と回答し、次回以降の参加についても94.9%が「参加したい」と回答するなど好評でした。また実際に介護相談窓口担当の湯浅氏のお話を聞くことで、介護相談窓口への相談のハードルが下がったと77.1%が回答し、介護相談窓口の活用につながる結果となりました。引き続き継続して開催する予定です。

和歌山大学 ダイバーシティ研究 仕事と介護の両立セミナー

2022年 3月10日(木) 15:00～16:30 オンライン開催

講演：「男性が介護するということ」

講師：津止 正敏(立命館大学産業社会学部教授/男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長)

対象：連携機関、南近畿女性研究者支援ネットワーク参画機関の教職員、関心のある方など

総務省の「労働力調査」によると、介護を理由に仕事を辞めた人のうち20%が男性という結果が出ています。男性が介護をする中で、家事の壁や地域の人間関係などの課題が深刻化しています。このような男性介護の問題を、今度は男性視点に立って考えた講座です。

親の介護に直面した際に、親の介護とうまく向き合うにはどうしたらいいか、地域福祉プログラムの臨床研究、男性介護者の介護実態と家族介護者支援に関する実証研究をされている津止 正敏氏(立命館大学産業社会学部教授)を招いてご講演いただきます。

仕事と介護の
両立セミナー
2022(令和4)年
3月10日(木)
15:00-16:30
Zoomによるオンライン形式
事前予約不要 参加費無料
講師 「男性が介護するということ」
津止 正敏氏
立命館大学産業社会学部教授、男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長